

# 都市再生整備計画

おかざきえきひがしちく  
岡崎駅東地区(第2回変更)

あいちけん おかざきし  
愛知県 岡崎市

平成26年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	岡崎市	地区名	岡崎駅東地区	面積	40.2 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

### 目標

#### 都市機能の充実と交流・賑わい空間を創出し、「都心」の形成を図る

- 目標1： 都市基盤整備を推進し、良好な商業・居住環境の形成及び防災機能の強化を図る
- 目標2： 人々の集積に対応した、交流機能・歩行者支援機能の強化を図る
- 目標3： 「都心」として、賑わいある魅力的な市街地形成を図る
- 目標4： 地域コミュニティの向上を図る

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・本地区は、JR東海道本線及び愛知環状鉄道線の岡崎駅の東側に位置し、明治・大正時代から交通の拠点として発展してきた既存市街地であるが、昭和の後半においては、老朽木造家屋が密集し、狭隘道路も多く、都市機能の低下が進行していた。また、市の行政・文化・商業等の都市機能が、岡崎城下の「康生地区」に偏って集積し、一極集中型の都市構造となっており、さらには、郊外型店舗の立地が進み、来街者の減少など空洞化を招き、まちの活力が衰退傾向にあった。しかし、このような状況を踏まえ、本地区を康生地区と一体的な市の「都心」として位置づけ、都市基盤・商業環境の整備、交通体系の確立、居住環境の改善を目的として、現在、土地区画整理事業、シビックコア地区整備事業などにより、まちの基盤整備を進めている。
- ・平成3年に岡崎駅東土地区画整理事業が開始された。
- ・平成8年に岡崎市シビックコア地区整備計画が建設省（現国土交通省）に承認され、平成10年～13年においてシビックコア地区整備推進連絡協議会が開催された。
- ・平成11年に「シビックコア地区整備事業」が地域戦略プランの国土庁（現国土交通省）承認を受け、交流空間の拡大を目指している。
- ・平成12年～14年に住民参加による「街並み景観検討会議」が開催された。
- ・平成12年～16年に「まちづくり総合支援事業」において、都市基盤整備及び、新しい都市拠点となるシビック交流拠点の形成を行った。
- ・平成14年4月に本地区北部のシビック交流拠点にシビックプラザが完成した。
- ・平成15年5月～9月に岡崎駅東土地区画整理事業区域内における住民参加のまちづくり計画策定をすすめていくことを目的に、「岡崎駅東地区 景観施設計画会議」が開催された。
- ・平成17年～21年に「まちづくり交付金事業」において、都市基盤整備、景観整備などを行った。
- ・平成17年～21年に「まちづくり講演会」が開催された。
- ・平成18年～20年に岡崎駅自由通路延伸整備を行い、平成20年6月に全面供用開始した。
- ・平成19年11月～平成20年9月にかけて、本地区内1号公園・5号公園の「公園づくりワークショップ」が開催された。
- ・平成22年3月現在の岡崎駅東土地区画整理事業の進捗率は、約75%（総事業費ベース）である。

#### 課題

#### 継続的な基盤整備による都市環境改善と「都心」として都市の成熟を図る必要がある

- ・岡崎駅東土地区画整理事業等の基盤整備が未完成なため、都市環境が十分に改善されていない状況であり、都市基盤整備の早期完了が必要である。
- ・都市基盤整備の進捗による定住人口・流入人口の増加に伴い、交流機能・歩行者支援機能・防災機能の強化が必要である。
- ・市の「都心」としての役割を担うべく、市の玄関口としてのシンボリック空間形成、シビック交流拠点と産業文化交流拠点、駅前広場を結ぶ回遊的空間形成を図り、賑わいある魅力的な市街地形成が必要である。
- ・継続的な住民参加のまちづくりを進め、地域コミュニティの維持・向上を図る必要がある。
- ・なお、本事業は平成17年度よりまちづくり交付金による財政的支援を受けて進めてきたが、今後なお一層の支援を必要としている。

#### 将来ビジョン（中長期）

#### 本市の都心として、広域的な文化・交通・交流・行政機能の形成

- ・第6次岡崎市総合計画、都市計画マスタープランにおいて、JR岡崎駅を中心とした本地区は本市の「都心」（広域行政機能や商業・文化機能などの集積を誘導し、交通拠点性を活かした新たな交流拠点を形成）として位置づけられており、名鉄東岡崎駅と並ぶ本市の玄関口として、都市の機能充実と人々が集い、交流する魅力ある空間形成を図ることとしている。
- ・岡崎市シビックコア地区整備計画では、官公庁施設と民間施設との連携による複合的なコアの形成による効果を期待するとともに、近代的で生活に密着した都市機能・形態・景観を目指し、全体として人にやさしい魅力を形成し心象に残るにぎわいあるまちづくりを行うこととしている。

### 目標を定量化する指標

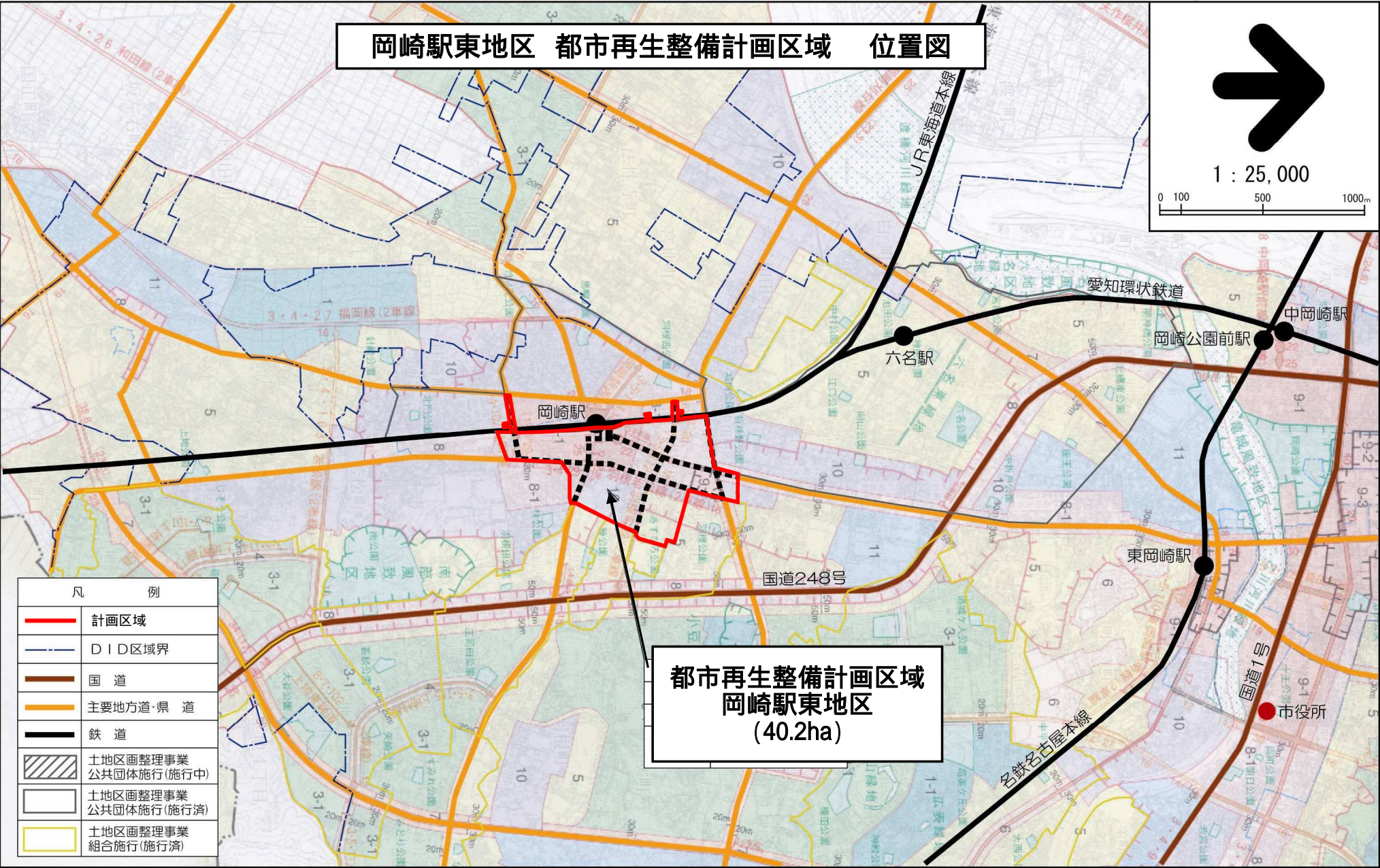
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
「都市基盤整備」に対する満足度	%	「都市基盤整備」に対する地域住民による評価（アンケート調査による）	都市基盤整備を推進することにより都市環境が改善され、地域住民の評価が上昇する。	41	平成21年度	66	平成26年度
「交流・歩行者支援」に対する満足度	%	「交流・歩行者支援」に対する地域住民による評価（アンケート調査による）	公園整備等による交流機能、ベンチや照明灯、情報板整備等による歩行者支援機能が充実し、地域住民の評価が上昇する。	36	平成21年度	61	平成26年度
「市街地形成」に対する満足度	%	「市街地形成」に対する地域住民による評価（アンケート調査による）	ストリートファニチャー整備等による魅力的空間、歩行者重視道路整備等によるにぎわい空間が形成され、地域住民の評価が上昇する。	25	平成21年度	50	平成26年度
「地域コミュニティ」に対する満足度	%	「地域コミュニティ」に対する地域住民による評価（アンケート調査による）	公園整備等による地域コミュニティの場の提供、各まちづくりイベント活動の実施などにより、地域住民の評価が上昇する。	35	平成21年度	60	平成26年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>整備方針1：(都市基盤整備の推進)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業及び下水道事業による都市基盤整備を推進し、良好な商業・居住環境の形成を図る。</li> <li>・防災機能の強化として、土地区画整理事業による密集市街地の改善、公園整備による緊急避難場所の確保、下水道事業による水害対策などにより、安全・安心な市街地の形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業(基幹事業)</li> <li>・岡崎駅東土地区画整理事業(関連事業/道路特会)</li> <li>・公園事業(基幹事業)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業/下水道事業)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業/建物移転補償事業)</li> <li>・シビックコア地区整備事業(関連事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針2：(人々の集積に対応した、交流機能・歩行者支援機能の強化)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流機能の強化として、シビック交流拠点と産業文化交流拠点を結ぶ歩行者重視道路の整備や公園・ポケットパークの整備を行い、人々の交流する空間を提供する。</li> <li>・歩行者支援機能の強化として、駅前広場や歩行者重視道路などにポケットパークやストリートファニチャー、トイレなどの整備を行い、人々が安全で快適に回遊できる環境を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業(基幹事業)</li> <li>・岡崎駅東土地区画整理事業(関連事業/道路特会)</li> <li>・公園事業(基幹事業)</li> <li>・地域生活基盤施設事業(基幹事業/ポケットパーク、案内板・公共サイン)</li> <li>・高質空間形成施設(基幹事業/ベンチ・シェルター・照明施設、トイレ・階段施設・エスカレータ)</li> <li>・シビックコア地区整備事業(関連事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針3：(賑わいある魅力的な市街地形成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業による健全な歩行空間の確保や商業環境の改善を図る。</li> <li>・ポケットパークなどの整備による交流空間の確保など賑わい空間の創出を図る。</li> <li>・ストリートファニチャーなどの整備により、魅力的な街並みの形成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業(基幹事業)</li> <li>・岡崎駅東土地区画整理事業(関連事業/道路特会)</li> <li>・地域生活基盤施設事業(基幹事業/ポケットパーク、案内板・公共サイン)</li> <li>・高質空間形成施設(基幹事業/ベンチ・シェルター・照明施設)</li> <li>・シビックコア地区整備事業(関連事業)</li> </ul>
<p><b>整備方針4：(地域コミュニティの向上)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園整備により、地域コミュニティの場を提供する。</li> <li>・様々なまちづくり組織活動や市街地緑化事業などにより、継続的な住民参加のまちづくりを推進し、地域コミュニティの向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園事業(基幹事業)</li> <li>・地域生活基盤施設事業(基幹事業/ポケットパーク)</li> <li>・地域創造支援事業(提案事業/市街地緑化事業)</li> <li>・まちづくり活動推進事業(提案事業/まちづくり講演会)</li> <li>・シビックコア地区整備事業(関連事業)</li> <li>・おかさき地産地消推進事業(関連事業)</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>シビックコア地区整備について          本地区の一部は平成8年に岡崎市シビックコア地区として建設省(現国土交通省)に承認され、また、平成11年には地域戦略プランの国土庁(現国土交通省)に承認され、以下のような目標のもとまちづくりが行われている。          「官庁施設、都市施設、民間施設が一体となった新しい都市空間構成への更新を区画整理事業との整合を図りながらすすめる。また、建築形態や都市空間づくりにおいて、地区の伝統を継承しつつ生活に密着した人にやさしい魅力や心象にのこる賑わいあるまちづくりをすすめる、地区全体のポテンシャルアップをめざす。」</p> <p>その中で、国の合同庁舎・立体駐車場、市のシビックセンター・立体駐車場を整備することにより、いつでも人々が集める魅力・賑わい・活力ある交流拠点を形成することを方針としていたシビック交流拠点内に、平成14年、シビックプラザが完成している。</p> <p>まちづくり協議会によるイベント開催</p> <p>平成12年に岡崎市シビックコア地区整備計画区域に生活する者、土地権利者、自治会の代表者などがシビックコア地区まちづくり協議会を結成した。その後、平成14年のシビックセンターの供用開始以降、協議会と岡崎市が中心になり様々なイベントが開催されている。その概要を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年：岡崎市シビックセンター交流広場において、協議会が主催する「スプリングフェスティバル」を開催。(以降協議会のメンバーが主体となり実行委員会を組織して毎年春に実施)</li> <li>・平成14年：岡崎市シビックセンター交流広場において、協議会が主催する「納涼盆踊り大会」を開催。(以降協議会のメンバー及び総代会他の地元の各団体が主体となり実行委員会を組織して毎年夏に実施)</li> <li>・平成14年：岡崎市シビックセンター交流広場において、岡崎市が主催し、協議会が後援する「イルミネーションコンサート」を開催。(以降毎年12月に実施)</li> <li>・平成16年：協議会と岡崎市が共催で「まちづくり講演会」を開催。(以降毎年実施)</li> <li>・平成16年：岡崎市シビックセンター交流広場において、協議会が主催する「フリーマーケット」を開催。(以降毎年実施)</li> </ul>	



岡崎駅東地区(愛知県岡崎市)	面積	40.2 ha	区域	岡崎市羽根町、柱町、針崎町、羽根西一丁目、柱一丁目の各一部
----------------	----	---------	----	-------------------------------



# 岡崎駅東地区(愛知県岡崎市) 整備方針概要図

目標	都市機能の充実と交流・賑わい空間を創出し、「都心」の形成を図る	代表的な指標	「都市基盤整備」に対する満足度 ( % )	41	(平成21年度)	66	(平成26年度)
			「交流・歩行者支援」に対する満足度 ( % )	36	(平成21年度)	61	(平成26年度)
			「市街地形成」に対する満足度 ( % )	25	(平成21年度)	50	(平成26年度)

